

山形県警交通指導課と山形警察署へ「感謝状」を贈呈

～自動車販売整備店らによるレッカー搬送費用にかかる保険金詐欺事件で検挙～

日本損害保険協会東北支部（委員長：鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙した山形県警察本部交通部交通指導課と山形警察署へ感謝状を贈呈しました。

1月29日（水）に山形県損害保険防犯対策協議会総会の場で行われた贈呈式には、山形県警察本部交通部交通指導課の 岩瀬 佳仁 課長と山形警察署の 阿部 喜彦 署長が出席し、山形県損害保険防犯対策協議会の 筒井 政行 会長（東京海上日動火災保険株式会社 山形支店長）から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

本事件は、2023年8月～翌年1月までの間、顧客の車が故障したと装い、損害保険会社から運搬費用など計約51万円をだまし取ったものです。保険会社からの相談を受け、山形県警交通指導課および山形警察署が共同捜査を行い、2024年7月に自動車販売整備店ら3名が逮捕されました。

岩瀬課長および阿部署長からは、感謝状の贈呈に対し謝意が示されるとともに、「検挙することで抑止にも繋がる。本件は社会的反響も大きく、警鐘を鳴らせたと思っている。今後とも事件の検挙に向けて鋭意取り組んでいきたい」とコメントがありました。筒井会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であるとして、引き続きの連携について依頼がありました。

当支部は、今後も警察等と連携しながら、不正請求の排除に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行っていきます。

*当日は、山形新聞からの取材がありました。



筒井会長からの贈呈



集合写真

(左から筒井会長、阿部署長、岩瀬課長)